協議事項(2)

ワーキンググループの設定及び今後のスケジュールについて

1. ワーキンググループについて

過去の調査、検討、方針等をふまえて、主に議論を深めるべきテーマとして以下の4つを設定し、それぞれにワーキンググループを設け、具体的な検討を行う。

各ワーキンググループには懇話会委員の他、テーマに関連する区・地域自治協議会関係者、公募委員 応募者、事業者、行政関係部署(地域おこし協力隊・地域担当職員含む)等の参加も呼びかける。

【ワーキンググループ(案)】

WG 名	テーマ・課題	想定する検討内容	構成
自治組織の関係性 WG		・区と自治協の関係性(補完の在り方) ・行政と住民自治の関係性(分権型社会システム懇話会検討結果踏まえ) ・行政依頼役の棚卸し・見直し方向性 *ヒアリング調査等で把握した事例等も検討素材として扱う	●懇話会委員 ・小島委員(自治協議会) ・池野委員(自治協議会) ・山本委員(区長会) ●公募委員応募者 ●地域担当職員 ●市課題関連部署 ・総合政策課
自治協在 り方WG	地域自治協議会の役割・体制・拠点・財源の在り方	・地域自治包括交付金など資金 (資金的支援の在り方) ・自治協の人的体制・充実(役員・ 事務局の在り方) ・自治協の拠点(拠点施設の場 所・機能、管理運営の在り方) *ヒアリング調査等で把握した 事例等も検討素材として扱う	●懇話会委員 ・松原委員(自治協議会) ・中尾委員(自治協議会) ・衣川委員(県民局) ●公募委員応募者 ●地域おこし協力隊 ●地域担当職員
生活課題 対応WG	生活課題への住 民自治による対 応の方向性(地域 自治協議会の補 完・行政責任によ る対応含む)	・今後10年を見据えた生活課題への具体対応の検討 ・区の再編見直し、災害時安全確保、移動・買い物手段、農地・土地利用・空き家、移住者受け入れ※課題別検討等、WGの会議内で時間やグループを分けるなど柔軟に検討 *ヒアリング調査等で把握した事例等も検討素材として扱う	●懇話会委員 ・習田委員 (社会福祉協議会) ・天野委員(公募委員) ●地域おこし協力隊 ●地域担当職員 ●市課題関連部署 ・都市政策課 ・防災安全課 ・農林振興課 ※石原委員長(農業委員会) ・健康福祉部

※市民協働課・支所、和田山地域振興課及び支援業者は全ての WG に参加する 座長は随時内容に応じて参加を依頼する

2. 今後のスケジュールについて(令和6年度)

【スケジュール (案)】

月	会議等	内容等	関連会議等
5月	第1回懇話会	・懇話会の概要報告・前年度に実施したヒアリング結果報告・指針(案)説明・WGの設定及びスケジュール説明	
6月	第1回WG(各WG)	・WG テーマに関する協議:課題整理	
7月	第2回WG(各WG)	・WG テーマに関する協議:方針や取組・施策検討	
8月	第2回懇話会	・各 WG での協議結果の共有 ・指針内容の具体化・素案検討 ・市民フォーラムの内容検討	地域自治協議会会議 ・懇話会及び WG の経過報告
10-11 月	まちづくりフォーラム	・自治基本条例説明 ・前年度に実施したヒアリング結果報告 ・指針(案)説明 ※小規模集落や地域自治協議会の現状 とその対応としての指針内容の素案 を元にした意見交換	
12 月	第3回WG(各WG)	・WG テーマに関する協議:市民フォ ーラムを踏まえた内容の検討・修正	
	第3回懇話会	・市民フォーラム・WG を踏まえた、 指針内容の修正や調製	
12-1 月	とりまとめ作業	・必要に応じて WG やヒアリング	
2月	第4回懇話会	・指針確定・令和7年度以降の予定等	
3月			地域自治協議会会議 ・手引の周知